犬山市教育大綱基本フレーム（案）

資料２

１．教育のまち犬山をめざして

人生を豊かにする。豊かさの質を高める　「自ら学び続ける」ことは、人生を豊かにするだけでなく、豊かさの質を高めることにつながります。

個性あふれる地域資源を活かす！　豊かな自然や文化財など、多くの地域資源に恵まれ、都市部へのアクセスも良好な犬山市は、人を育むのに最適なまちです。市内のいたるところでみられる個性あふれる地域資源は、「学び」にとって最良の教材であり、これらをひとづくりに活かさない手はありません。

「ひとづくり」を「まちづくり」の根幹に！　これからの犬山市のまちづくりを支えるのは、まずは地域の担い手として、やがては、日本人の得意とする知恵と技術力をもって、活動範囲を世界に広げて活躍できる人材です。そこで、「まちづくり」は「ひとづくり」の信念のもと、「ひとづくり」を「まちづくり」の根幹に置き、地域ごとの特徴を活かした「犬山らしい」ひとづくりを進めます。

連携プレーで取り組む！　市民一人ひとりが、生涯にわたって自ら学び続け、育ちの対象となるとともに、それぞれが家庭、地域などにおいて教育の担い手となり、担い手同士の連携プレーにより、犬山市全体で「教育のまち犬山」の実現をめざして取り組みます。

「訪れたいまち」「暮らしたい」まちへ！　市民自らが、地域の中で学び続けることによって、それぞれの地域の魅力を再認識し、愛着をもってまちづくりを推進することで、「教育のまち」が犬山市の求心力となり、市内に住む人が「ずっと住み続けたい」、市外の人が「訪れたい」、「暮らしたい」と思えるようなまちになります。

基本理念（めざす方向性）

生涯にわたって自ら学び続けるひとづくり

基本理念実現のための３つの視点（例示）

「生涯にわたって自ら学び続けるひとづくり」のために、以下のような視点を設定します。

「学ぶ」　・・・過去から学ぶ　今を学ぶ　未来に学ぶ
「護る」　・・・子ども　自然　文化(財)
「交わる」・・・異世代交流　異文化交流　地域交流　学校間交流　など

２．基本理念の実現に向けて

①市民
○○○

３．取組の方向性

○○○○○○○○○○○を整えます！

○○○○○○○○○○○